



(2) 安全、安心な通学を保障

自転車通学 安全第一に

2学期から清和台中学校のけやき坂地域と東谷中学校の北陵地域で自転車通学がはじまりました。けやき坂は約110人、北陵地域は約30人が自転車を利用しています。事故の有無や現状の確認、課題と解決に向けた取り組みについて、また、市行政としてヘルメット等の配布や経済的支援、電車やバスで通学する児童・生徒への交通費補助なども要求し続けています。

事故5件 もしもの対応徹底を

事故については5件。大きな事にはなっていないものの、小学生とセンターに配置されている管理栄養士などが検査を実施しています。ヘルメットの着用や危険運転をしないことは当然ですが、もしも時の対応や連絡の在り方(スマホの保有など)などを徹底することを求めています。

北陵の生徒 (年間交通費)
バス代 70700円
電車代 50020円
けやき坂の生徒 バス代 89300円

保護者負担 (年間) 2100万円 (申請数より計算)



安易に「ふりかけ」自販機設置

教育委員会が自ら作った「食物アレルギー対応の手引き」では、小学校・特別支援学校では、卵の除去について、中学校給食センターでは、命に関わるとされているアナフィラキシーの原因となる小麦・そばなど特定原材料8品目、それに準ずる20品目を含む28品目の対応に取組む建設・運営が行われています。除去食に加え、代替食または、アレルギー不使用食の提供により生徒全員喫食に向けた取り組みを推進する。また、食物アレルギー起因する誤食等を最大限抑制する。と書かれています。

食育の視点で教育を

また、食育の視点をもって教育にあたるのは、栄養教諭や管理栄養士だけの仕事ではありません。学校の職員が一人丸となって生徒や保護者に伝え協働していくべきものです。また、センター配置の職員が保育所と兼務であったり、センター長に代わって毎日検査を行っている。事務をこなしている。のですから、な方は大問題です。

「中学校給食にパン」  
保護者から憤り・心配の声・声・声～  
アレルギーの小麦パンを何故？ミマモルメに流れてきた内容「3学期にパンを入れる」って？！  
中学校給食センターは、アレルギー28品目対応。完全米飯給食を実施するよう28億円もの巨額をかけた建物。ご飯とパンのコストを比較するとパンが割高。物価高騰の中、おかずへの影響が懸念。  
パンはそれだけで食塩入り。アレルギー対応、食育が壊される

自転車通学の拡大は、部活動の社会移行を含め検討するとしていますが、自己責任や受益者負担を押し付けるのではなく、中学校予定地があるにも関わらず、学校建設を行わなかったのは市行政の責任。経済的負担を強いるのではなく、近隣市町の状態を見てもわかるように、市としての予算化・施策化を求めています。

(3) 28億円超もかけて建設、28品目アレルギー対応をしっかりとっている中学校給食、どう考え、どこへ導こうとしているのか

「専任検査」ゼロのまま  
問われる教育委員会の見識

「検査のある午前中は給食センターを優先できるような公務予定を立て、今はより多くの日数を場長(所長)が検査を実施できるように努めますと回答していますが、「センター長の検査はゼロ」なのです。  
近隣市町ではセンター長や事務職員が給食センターに常駐し、センター長が検査を行っています。この、当然のことをなぜ川西では実行しないのか。早急な是正を強く求めています。

それを受けて市・教育委員会は、「検査のある午前中は給食センターを優先できるような公務予定を立て、今はより多くの日数を場長(所長)が検査を実施できるように努めますと回答していますが、「センター長の検査はゼロ」なのです。

近隣市町ではセンター長や事務職員が給食センターに常駐し、センター長が検査を行っています。この、当然のことをなぜ川西では実行しないのか。早急な是正を強く求めています。

また、食育の視点をもって教育にあたるのは、栄養教諭や管理栄養士だけの仕事ではありません。学校の職員が一人丸となって生徒や保護者に伝え協働していくべきものです。また、センター配置の職員が保育所と兼務であったり、センター長に代わって毎日検査を行っている。事務をこなしている。のですから、な方は大問題です。

清涼飲料水摂取の懸念

「ふりかけ持参」は、残食を減らすためとされましたが、残食は減ったでしょうか。3月末から設置された自動販売機は、10月までにジュースを含む48677本、238万5150円の販売が伸びています。

子どもにとって、最善の利益とは、命が守られ安全・安心、健やかに育まれていくこと。ここに尽きると思っています。

国が、食育基本法や健康増進法の強化・改定がなされている状況のもとで、中学校給食実施に向けて熟議されてきたものが、どんどん壊されていくことに危機感を持っています。

公立保育所と認定こども園の在園児数について (人)

保育所	3号認定			2号認定			合計	定員
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
川西南保	—	14	15	17	20	19	85	80
小戸保	0	15	17	18	19	20	89	90
多田保	—	10	23	27	29	29	118	110
川西中央保	6	7	12	15	17	17	74	60

…給食センター近隣市町の職員の配置状況…  
川西市立中学校給食センター 栄養教諭3、管理栄養士1 (4000食) 中 (保育所兼務)  
猪名川町 センター長1、事務員1、栄養教諭2 (3000食) 幼・小・中  
伊丹市 センター長1、事務員2、栄養教諭2 (5500食) 中

こども園	3号認定			2号認定			合計	定員	1号認定			合計	定員
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児			3歳児	4歳児	5歳児		
牧の台みどり	5	10	11	13	13	14	66	60	29	25	28	82	70
加茂	6	10	11	16	16	16	75	75★	31	30	36	97	155★
川西	6	9	11	16	17	16	75	75★	9	15	18	42	55★
川西北	6	13	13	16	19	17	84	80	22	22	29	73	100

